

標準施工要領書

速硬カチオン厚塗り

ヤブ原産業株式会社

〒334 - 0054 埼玉県川口市安行北谷 546

TEL 048 (297) 4111

FAX 048 (290) 1198

1. 特 長

- 短時間で硬化するため、工期の短縮が計れます。
- 10mm厚でも早期に含水率が低下します。
- 可使時間長く、ゆったりと作業ができます。

2. 仕 様

工 程	材料・調合	施工器具	使 用 量
主材塗り	速硬カチオン厚塗り 主 材：100部 硬化液：16～20部	コ テ	21 kg/m ² (t = 10mm)

※1回の塗り厚 3～10mm

3. 工 法

3-1 下地処理

- 1) 補修の際は、下地が躯体に対して十分な接着力があるか確認してください。
十分な接着力のない場合はケレンしてください。
- 2) 研磨粉をエアブロー、ウエス等で除去します。
- 3) 下地表面のレイトンス・ほこり・油脂等はケレン及び水洗いにて除去してください。
- 4) 脆弱な無機質下地の場合は、浸透プライマー又はガッチリ浸透プライマーWで下地強化してください。
- 5) 下地に撥水剤が塗布してある場合は接着できない物もあります。あらかじめテストを行い確認してください。また、ワックス類が塗ってある床仕上げ材の場合ワックスクリーナー等で洗い落としてから施工してください。
- 6) ポリエステル、FRP、アルミニウム、ステンレス、軟質塩ビ、油面には接着できません。

3-2 材料の混ぜ合わせ

- 1) 練りませ容器に硬化液のおよそ80%を入れ、主材パウダーを徐々に加えながらハンドミキサー等で練り上げます。残りの硬化液を添加して施工に適した粘度に調整します。
- 2) 一度に混ぜ合わせる量は、60分(20℃)以内に使いきる量とします。
時間経過とともにしまってきた材料は、使用しないで廃棄扱いとしてください。
- 3) 一般用と冬用を使い分けてください。

3-3 主材塗り

- 1) 施工は、コテ塗りで行います。
- 2) 一度に塗りつける量は10mmを限度としてください。

- 3) 10mm以上の厚付けを必要とする場合には、2回に分けて施工してください。工程間隔は3時間(20℃)を目安としてください。
- 4) 吸水が激しい場合および脆弱な下地の場合は、浸透プライマー又はガッチリ浸透プライマーWをあらかじめ塗布しておいてください。

- 注) ○ 可使時間、約60分(20℃)を過ぎた材料は、練り戻して施工することを、避けてください。
- 強風及び降雨・降雪の予想される場合、または3℃以下となることが予想される場合には施工を避けてください。
 - 主材パウダーは水硬性ですので、水や湿気には十分注意して保管してください。
 - 硬化液は直射日光下、0℃以下での保管は避けてください。
 - セットされた材料以外のものは混入しないでください。

4. 養生

4-1 硬化時間 20℃室内測定

始発時間	120分	終結時間	140分
------	------	------	------

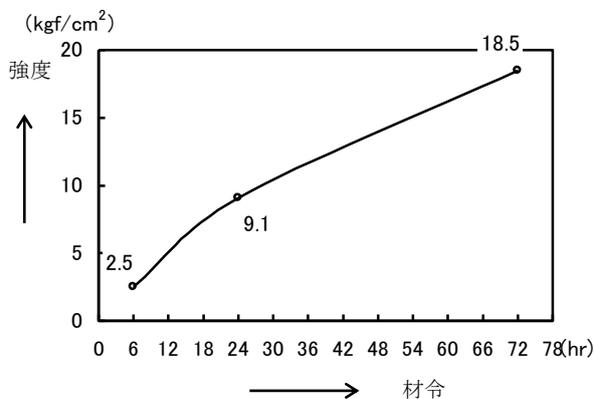
4-2 含水率の推移

20℃室内 高周波水分計(ケット社製) 塗厚: 10mm

被着体	5時間	6時間	7時間	8時間	20時間
コンクリート(含水率4%)	11.5	10.2	7.8	7.2	5.8

4-3 強度発現

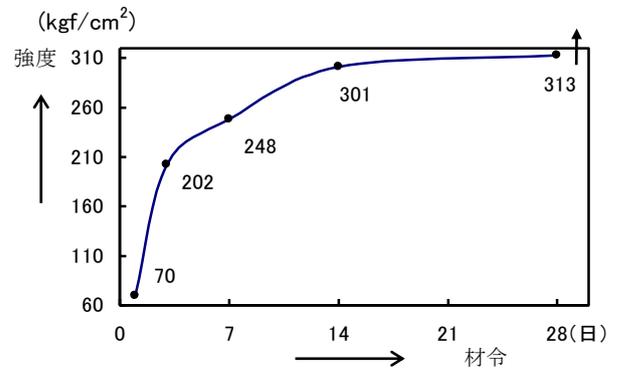
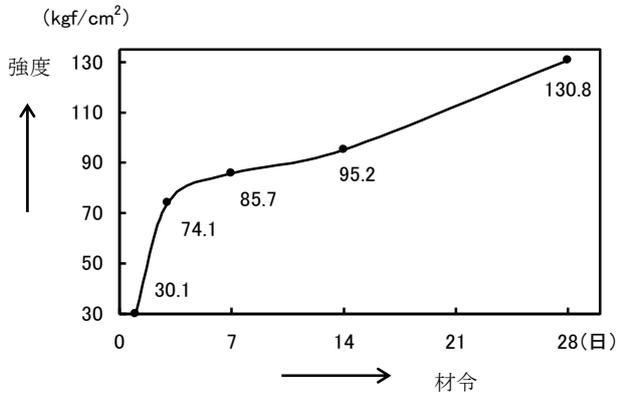
1) 付着強さ 20℃、65% 気中 建研式接着力試験 単位: kgf/cm²



コンクリート下地 厚塗: 10mm

項目	付着強さ	備考
標準(14日後)	30.4	20℃×65%
低温(14日後)	23.5	5℃
温冷繰返し後(10サイクル)	27.7	20℃水中×18hr ↓ -20℃気中×3hr ↓ 50℃気中×3hr

2) 曲げ・圧縮強さ J I S R 5 2 0 1 - 9 準拠 単位 : kgf/cm²



5. 梱包形態

	内容量 (kg)	形態	標準施工面積 (m ²)
60 kg セット	パウダー : 25 × 2	紙袋	9.5 t = 3 mmの場合
	硬化液 : 10	缶	